

## プロトコール 6人制(3セットマッチ)

(試合開始前、セット間及び終了後の手順)

(試合開始前)

	チーム	主審・副審
	両審判員のネット等のチェック時は、ネットを使用せずにウォーム・アップすることができる。	両審判員は、ネットの高さ、張り具合、アンテナの位置およびサイド・バンドの位置をチェックする。
11分前	キャプテンは、トスのために記録席へ行く。トスの後、記録用紙にサインする。	主審は、記録席で副審を立ち合わせてトスを行う。副審は、両方のキャプテン、監督を記録席に導き、記録用紙にサインをさせる。
10分前	両チームが一緒か、または個別に(サービス権を得たチームから)公式ウォーム・アップを開始する。	主審は、公式ウォーム・アップ開始を吹笛で合図する。ボール、スコア・シート、ブザー、ユニフォームなどゲームに必要な用具をチェックする。ライン・ジャッジ、ボール・リトリバー、モップと打合せを行う。副審は、公式ウォーム・アップの計時を行う。
7分前	個別に公式ウォーム・アップを行っている場合は、交代する。	副審は、各チームが個別に公式ウォーム・アップを行っている場合は、その交代を吹笛で合図する。
4分前	公式ウォーム・アップを終了し、各チームのメンバーは速やかにベンチへ戻る。	主審は、公式ウォーム・アップの終了を吹笛で合図する。
3分前	全選手は、エンド・ライン上に整列する。主審の吹笛と合図でネット付近で両キャプテンが握手する。そしてチーム・メンバーが続いて握手する。その後、各チームのメンバーはベンチに戻り、スターティング・プレイヤーは、ユニフォーム姿で待機する。	主審は、両チームのプレイヤーをエンド・ライン上に導く。主・副審は審判台の前で、ネットをはさんで記録席から見て左側に主審、右側に副審が位置する。両チームが整列したら、挨拶(握手)を交わすように吹笛で合図する。審判役員はそれぞれの位置につく。副審は、サービスゾーンの後ろに位置しているボール・リトリバーにボールを1個ずつ送る。
1分30秒前	主審の吹笛の合図で、スターティング・プレイヤーは、ベンチから直接コートへ入る。	主審は吹笛で合図して、プレイヤーをコート内へ導く。副審及び記録員は、それぞれスターティング・ライン・アップを照合する。その後、副審はボールを最初のサーバーに送る。
0分前	最初のサーバーは、サービス許可の吹笛によりサービスを行う。	主審は、サービス許可の吹笛と同時にハンドシグナルをする。

(セット間)

	チーム	主審・副審
セット終了後	セットが終了したら、コート上のプレーヤーはエンド・ライン上に整列する。プレーヤーは、主審の吹笛の合図で、向かって右側のサイドラインに沿って進み、支柱の外側を通過したら直接それぞれのベンチへ戻る。	主審は、プレーヤーがエンド・ライン上に整列したら、コートを交代するよう吹笛とシグナルで合図する。
2分30秒前	プレーヤーは、副審の合図により、ベンチから直接コートに入る。	副審は、記録員の合図を受けて、両チームにコートに入るよう吹笛で合図する。その後直ちに、スターティング・ライン・アップを照合する。

(最終セットのコートチェンジ)

	チーム	主審・副審
いずれかのチームが13点目を先取したとき	主審の吹笛とシグナルの合図で、コート上のプレーヤーは、エンド・ライン上に整列し、主審の吹笛とシグナルで、向かって右側の支柱の外側をまわり、コートを交替する。	主審は、13点目の吹笛の後、コート上のプレーヤーをエンド・ライン上に整列させ、コートを交代するよう吹笛とシグナルで合図する。

(試合終了後)

	チーム	主審・副審
速やかに	試合が終了したら、コート上のプレーヤーはエンド・ライン上に整列し、主審の吹笛でネットに近づき、相手チームと挨拶(握手)を交わす。キャプテンは、主審と副審に感謝の握手をする。そして記録用紙にサインをする。チームは直ちにベンチから退席する。	主審は、コート上のプレーヤーをエンド・ライン上に整列させる。主審は審判台を降り、副審が審判台右側の定位置に着いたら、吹笛と合図で両チームに挨拶(握手)をさせる。そして両チームのキャプテンを伴って記録席に行き、記録用紙にサインさせ、その後、記録員の記録用紙への記入を完了させる。

[注] 個々の大会において必要と認めた場合は、プロトコールの下記の点を変更しても良い。

- 1 ボール1個による試合の場合は、ボール・リトリバーに関するプロトコールを省略する。
- 2 ボール1個による試合の場合は、副審は、セット間の試合の中断、コートの交替及びタイム・アウト時にボールを保管し、試合再開時にサーバーに渡す。